

# -古河公方公園- 公園だより



2021年5月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社  
古河公方公園(古河総合公園)  
茨城県古河市鴻巣399-1  
電話0280-47-1129

## ■春の植物観察会 4/10



4/10(土)、春の植物観察会を実施いたしました。講師はもりもりクラブの川田いつ子先生。春の野草について、参考になるお話が盛りたくさん。参加して下さったみなさんはみな充実した時間を過ごせたようです。

## ■花桃の植樹 4/17

4/17(土)、古河青年会議所主催の花桃植樹イベントが開催されました。植樹以外にも、園内を回ったり、クイズを解いたり、自然と触れ合いながら楽しい時間を過ごしたようです。



## ■花桃をクビアカツヤカミキリからまもる!

■古河公方公園には約1,500本の花桃が植えられています。しかし今、この花桃がある昆虫によって、脅威にさらされていることをご存じでしょうか。その脅威となる昆虫の名は、『クビアカツヤカミキリ(クロジャコウカミキリ)』。

このクビアカツヤカミキリですが、2018年に特定外来生物に指定されており、おもにバラ科の樹木(ソメイヨシノ、ウメ、ハナモモ等)に最大約1000個の卵を産みます。そして、孵化した幼虫が健康な木の内部を食い荒らし、衰弱させて枯らしてしまいます。

た形をしています。もし園内で見かけたら管理棟までお知らせください。



また、成虫を発見した場合は、特定外来生物という理由から、移動させることができないため、その場で捕殺して管理棟までご連絡ください。

クビアカツヤカミキリによる被害は全国的に広がっており、大きな問題になっています。この公園でも被害が広がらないよう、薬剤やネットによる徹底した対策を行っています。こういった地道な方法でしか駆除できないのですが、生物多様性を守る観点から、皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。



クビアカツヤカミキリの成虫



クビアカツヤカミキリの幼虫

### ◎クビアカツヤカミキリの特徴

- ・体長 2.5~4.0cm
- ・全体的に黒く光沢がある。
- ・胸部が赤色である。
- ・6~8月に成虫が出現する。

幼虫は、2~3年間樹木の中で生活するのですが、その際幼虫が出すフラス(木くずと糞が混ざったもの)が排出口から大量に排出されます。フラスはひき肉のようになべうねし

## ●新型コロナウイルス関連のお願い●

- 「三つの密」、「感染リスクが高まる「5つの場面」等の感染リスクの高まる場面は回避してください。
- 「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を徹底し、感染拡大を防止する「新しい生活様式」に沿った行動をお願いいたします。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索